

第 38 回延岡陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 本大会は、令和 4 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技規則により行う。

2 招集について、次の通りとする。

- (1) 招集所での招集は行わない。棄権届けは、必ず事前に提出すること。当日急に出場できなくなった者は、記録室へ申し出ること。
- (2) 競技者は、招集開始時刻から完了時刻までの間に、トラック競技はスタート位置（4×100mR はそれぞれのスタート場所）、フィールド競技はそれぞれの競技場所で点呼を受けること。

競技種目	招集（点呼）開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	（競技開始時刻） 15 分前	（競技開始時刻） 10 分前
フィールド競技	（競技開始時刻） 40 分前	（競技開始時刻） 30 分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。ただし他競技種目に出場中の競技者は、代理人が申し出ること。
- (4) リレーに出場するチームは、記録室でオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入すること。オーダー用紙は競技開始 60 分前までに記録室に提出すること。

3 組み合わせ・走路・試技順

- (1) レーン順・競技順は、主催者が決定しプログラムに記載する。
- (2) トラック競技の決勝とフィールド競技の試技順は、本大会本部の抽選により決定する。
- (3) 予選がある種目については、タイムレース予選の全体上位 8 名を決勝進出者とする。ただし、1000 分の 1 秒まで計測し、同タイムの場合は抽選により決定する。
- (4) 小学生の走幅跳及びジャベリックボール投は 3 回試技とする。

4 走高跳のバーの上げ方

種別	練習	試技
女子	105cm	110cm から 5cm きざみ 140cm まで 以後 3cm きざみ
男子	125cm	130cm から 5cm きざみ 160cm まで 以後 3cm きざみ

※バーの上げ方は、天候等特別な状況が生じた場合、審判長の判断で変更することもある。

5 棒高跳のバーの上げ方 練習および試技におけるバーの高さ等は自己申告によるものとする。

6 投てき物の重量

性別	種目	砲丸			円盤		やり（ターボジャブ）		
		一般	高校	中学	一般	高校	一般	高校	中学
男子		7.26kg	6.0kg	5.0kg	2.0kg	1.75kg	800g	800g	300g
女子		4.0kg	4.0kg	2.72kg	1.0kg	1.0kg	600g	600g	300g

※ジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベボールを使用する。競技は、やり投ピットを使用し、ボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げることとする。助走距離は 15m 以内とする。

7 その他

- (1) ナンバーカードは令和 4 年度宮崎陸協登録番号を使用する。なお、800m、1000m、1500m、3000m、5000m 出場者は、大会本部から貸与される腰ナンバーを使用し、レース終了後直ちに返却すること。
- (2) 中学生以上は不正スタート 1 回で失格とする。小学生は同じ競技者が 2 回不正スタートをした場合にその競技者を失格とする。トラック競技におけるスタート前の発声を禁止する。
- (3) 各種目 3 位まで表彰する（リレーの合同チームはオープン扱いとして順位に含めない）。また、小学生の優勝者にはメダルを授与する。大会終了後の選考会を経て、最優秀選手賞（若干名）を後日授与する。
- (4) ウォーミングアップは土曜日のみ補助競技場を使用可。日曜日は使用不可。なお、スパイク流し程度のアップは競技場内でも認めるが、競技に支障がない時間帯のみとする。
- (5) 記録速報やライブ配信を行う。※【GGN 速報室】<http://ggn.goldengames.jp/>